

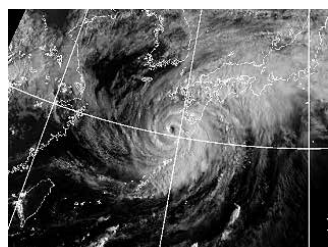
さいがい
いろいろな自然災害

じしん つなみ
地震や津波以外にもいろいろな自然災害があります。どんな災害があるのでしょうか。

1 とくちょう
台風の特徴とその災害

あたたかい 南の海で発生した熱帯低気圧が周りの水蒸気を取り込み、すさまじいエネルギーを持つようになります。そのうち、中心付近の最大風速が1秒間に17.2 m (時速約60km) 以上になったものを「台風」とよびます。

台風は上空の風のえいきょうで動きます。台風は、強い風と大量の雨をともなうため、風水害や土砂崩れなどの災害を引き起こします。



上空から見た台風の様子
(気象庁HP)

2 しゅうちゅうごう う
集中豪雨の特徴とその対策

集中豪雨とは、せまい地域に短時間で百mmから数百mmも降り続く激しい雨のことを言います。雨を降らせる雲が同じ場所で発生し、そのまま発達をくり返すために起こります。

2015 (平成27) 年9月11日、関東・東北豪雨では、河川の氾濫によって宮城県内で2名の方が亡くなりました。

6月から9月にかけての雨の多い季節には、早めに気象情報を知ることや避難対策を考えておくことが大切です。自分の住んでいる地域ではどんな水害が起こる危険性があるのか、また洪水のときの避難方法や準備物も調べておきましょう。



仙台市泉区根白石の
被害の様子

3 かみなり
雷の特徴

きゅうげき
急激に雲が発達することにより、雷が発生しやすくなります。雷のものは「静電気」です。雲の中でできた氷のつぶが、上昇したり落下したりするときたがいにこすれ合って「静電気」が発生します。そして、雲が大量の電気をたくわえると、ふつうは電気を通さない空気を伝わって、地表に電気が放電されます。これが落雷です。



雷の発生 (気象庁HP)

4 たつまき
竜巻の特徴

発達した雲の下に、急激な上向きの空気の流れ(上昇気流)が発生することがあります。これが強くなったときに「竜巻」になります。うず巻きの大きさや移動する距離は台風よりもはるかに小さいのですが、風の力は台風よりもずっと強いのです。ものすごい勢いで家屋や車、木々を飛ばし、大きな被害をもたらします。



竜巻の発生

5 火山の噴火の特徴

日本には、多くの火山があります。火山の中には、地中のマグマが地表近くに上昇することで、マグマそのものが地表に流れ出したり、地下水とふれあうことで爆発的な噴火(水蒸気爆発)をしたりするものがあります。火山が噴火すると、火砕流という高温のガスのかたまりが流れ落ちたり、大きな岩や火山灰が飛んだりして、大きな被害をもたらすことがあります。

? 考えよう

○仙台市の過去の災害をP62～P63の年表で調べましょう。また、P32～33で台風や雷、竜巻から安全に身を守る方法を確認しましょう。